

令和2年12月11日

荒川区長

西川 太郎 様

自山民主党荒川区議会議員団

土橋 圭子      鎌田 理光      町田 高      中島 義夫  
菅谷 元昭      明戸真弓美      茂木 弘      並木 一元  
斎藤 泰紀      北城 貞治      志村 博司

### 新型コロナウイルス対策に関する緊急要望（第8次要望）

新型コロナウイルス感染症の感染者が急増し、都内の警戒レベルも最も深刻な水準に引き上げられるなど、医療、経済、暮らし等の各分野において厳しい状況が続いています。こうした状況を踏まえ、国において、感染拡大の防止と経済活動の両立を目指した73.6兆円に及ぶ大規模な追加経済対策の実施を決定しました。

区では、これまで、我が党の要望を踏まえ、4次にわたる補正予算の編成をはじめ、必要な対策を迅速に実行してきたことを高く評価しています。こうした取組に加え、今般の感染急拡大の状況を踏まえ、国や都の取組と十分連携を図りながら、今、まさに区民や事業者が必要としている取組について、早急かつ確実に実施することを改めて要望いたします。

#### 記

- 1 国の追加経済対策の一環として予定されているひとり親世帯に対する臨時特別給付金の再支給に当たっては、厳しい状況下にある方々の暮らしの下支えを行うという趣旨を十分踏まえ、年内には全ての対象世帯の手元に行き渡るよう、着実に準備を進めること。
- 2 感染リスクを抱えながらも日々子どもたちを感染から守り、間近で成長を支え続けている保育園や幼稚園等の職員の方々に対して相応の給付を行うなど、国や都による支援が必ずしも十分行き届いていない分野において、区として必要な支援策を速やかに実施すること。